



## セカンド・パーティ・オピニオン SECOND PARTY OPINION

---

## 株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー グリーンボンド発行後 定期レビュー

**Prepared by:** DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

**Location:** 神戸, 日本

**Date:** 2022 年 2 月 25 日

**Ref. Nr.:** PRJN-350339-2022-AST-JPN-2

## 目次

I 目的とスコープ	4
II プロジェクト概要	5
III ダイキアクシス・サステイナブル・パワー及び DNV の責任	6
IV DNV 意見の基礎	6
V 評価作業	7
VI 観察結果と DNV の意見	8
スケジュール-1 ダイキアクシス・サステイナブル・パワー グリーンボンド候補プロジェクト	12
スケジュール-2 ダイキアクシス・サステイナブル・パワー グリーンボンド適格性評価手順	13
GBP-1 調達資金の使途	13
GBP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス	14
GBP-3 調達資金の管理	16
GBP-4 レポーティング	17

改訂履歴

発行日	主な変更内容
2021年2月22日	グリーンボンド発行前 セカンド・パーティ・オピニオン
2022年2月25日	グリーンボンド発行後 定期レビュー(第1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>2021年7月1日付で、「株式会社シルフィード」から「株式会社ダイキアックス・サステイナブル・パワー」へ商号変更</li> <li>資金調達及び資金充当状況をレビュー</li> <li>プロジェクトの環境改善効果をレビュー</li> </ul>
2022年2月25日	充当プロジェクト-01 概要情報及び環境改善効果の修正

**Disclaimer**

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

**Statement of Competence and Independence**

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct<sup>1</sup> during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

<sup>1</sup> DNV Code of Conduct is available from DNV website ([www.DNV.com](http://www.DNV.com))

## I 目的とスコープ

株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー(旧：株式会社シルフィード、以下、ダイキアクシス・サステイナブル・パワー)は、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(以下、DNV)に「シルフィードグリーンボンド」の定期レビューを委託しています。DNV における定期レビューの目的は、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーが、後述する参照する基準であるグリーンボンド原則(GBP)、グリーンボンドガイドライン(GBGLs)及び気候ボンド基準 3.0 版(CBS)の関連する技術基準(太陽光発電及び風力発電)に合致していることを確認するための評価を実施し、このグリーンボンドの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

ダイキアクシス・サステイナブル・パワーは、2021年5月31日に当該グリーンボンドを発行しました。当該グリーンボンドの発行額は10億円です。DNVのレビューチームは、GBP及びGBGLsに基づいて、2021年度(2021年5月から2022年2月まで)の定期レビューを実施しました。

DNVは、独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーとは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

この報告書では、グリーンボンドの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の環境便益に関する保証も提供されません。

### (1) レビューのスコープ

レビューは以下の項目について評価し、GBPの主要な4要素の主旨との整合性について確認されました

- |   |   |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 調達資金の用途 | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの選定と評価のプロセス |
| <input checked="" type="checkbox"/> 調達資金の管理 | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング           |

### (2) レビュー提供者の役割

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント・レビュー(セカンド・オピニオンを含む) | <input type="checkbox"/> 認証  |
| <input type="checkbox"/> 検証                                     | <input type="checkbox"/> 格付け |
| <input type="checkbox"/> その他:                                   |                              |

### (3) 適用される基準もしくはガイドライン

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル
1	グリーンボンド原則(GBP)	国際資本市場協会(ICMA)、2021	参照
2	グリーンボンドガイドライン(GBGLs)	環境省、2020	参照
3	気候ボンド基準 3.0 版(CBS) 対象セクター技術基準： 太陽光関連セクター基準 2.1 版(CBS-SE) 風力関連セクター基準 1.1 版(CBS-WE)	気候ボンドイニシアチブ	参照 (適用可能な技術基準)
4	グリーンボンド及びソーシャルボンド：持続可能な開発目標(SDGs)に照らしたハイレベルマッピング	国際資本市場協会(ICMA)、2020	参照
5	インパクトレポーティング調和化に関する冊子	国際資本市場協会(ICMA)、2021	参照

## II プロジェクト概要

株式会社シルフィード(以下、シルフィード)は、2011年2月の設立後、2012年4月に株式会社ダイキアックス(以下、ダイキアックス)の子会社(100%の完全子会社)となり、落雷や台風の自然災害に強く、生活圏に影響のないレベルにまで騒音や振動を抑えた小形風力発電機の研究・開発、太陽光および小形風力発電に係る売電事業を行ってきました。2021年3月26日開催のダイキアックス取締役会にて、「株式会社ダイキアックス・サステナブル・パワー」への商号変更が決定し、2021年7月1日付けで新商号へ変更されました。

ダイキアックス・サステナブル・パワーの事業とその目標は、ダイキアックスグループが営む「再生可能エネルギー関連事業」とグループ経営理念、ESG経営の推進およびSDGsへの貢献といったグループの目標に合致しています。

ダイキアックス・サステナブル・パワーは、当該グリーンボンド発行に当たり、「株式会社シルフィード グリーンボンドフレームワーク(以下、フレームワーク)」を確立し、10億円(本社債発行額から発行諸費用を除いた金額：9.95億円)をグリーンボンドで調達しました。そのうち、太陽光発電事業に6.82億円、小形風力発電事業に2.78億円が、共に建設費等のイニシャルコストのリファイナンスとして充当されたことを確認しました。また未充当資金0.35億円については、太陽光発電事業のランニングコスト(2年間)として充当される予定であることを確認しました。なお、調達資金の充当状況は、年に1回、ダイキアックスのウェブサイトにて報告・公表しています。

充当プロジェクト及び資産の概要は以下の表-1のとおりです。

表-1 ダイキアックス・サステナブル・パワー グリーンプロジェクト (2022年2月末現在) \*詳細はスケジュール-1を参照のこと

No.	充当プロジェクト	プロジェクト概要・充当金額
01	太陽光発電(陸上) 屋根置き型太陽光発電	<p><b>-概要</b> DCMグループホームセンター既存店舗への屋根置き型太陽光発電</p> <p><b>-設置場所</b> 全11カ所(茨城県、静岡県、富山県、石川県)</p> <p><b>-出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計：5,200kW(200kW~800kW/カ所)</p> <p><b>-充当額</b> 6.82億円</p>
02	風力発電事業(陸上) 小形風力発電	<p><b>-概要</b> 水平軸方式小形風力発電</p> <p><b>-設置場所</b> 充当対象11カ所(北海道、青森県)</p> <p><b>-出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計：217.8kW(9.9kW×2基/カ所)</p> <p><b>-充当額</b> 2.78億円</p>

上表の環境改善効果については、以下の方法により算出しています。

CO<sub>2</sub>削減量 = 発電量(kWh) × CO<sub>2</sub>排出係数(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

\*発電量：太陽光発電事業及び風力発電事業の実績値

\*CO<sub>2</sub>排出係数：「温対法に基づく事業者別排出係数」よりCO<sub>2</sub>排出係数の全国平均値

### Ⅲ ダイキアックス・サステイナブル・パワー及び DNV の責任

ダイキアックス・サステイナブル・パワーは、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しました。DNV のセカンド・パーティ・オピニオンは、独立した意見を表明するものであり、我々に提供された情報を基に、確立された基準が満たされているかどうかについてダイキアックス・サステイナブル・パワー及びファイナンスの利害関係者に情報提供することを意図しています。その業務において我々の提供する意見表明は、ダイキアックスから提供された情報及び事実に依拠にしています。DNV は、この意見表明の中で参照する選定された資産のいかなる側面に対して責任がなく、また試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って DNV は、ダイキアックス・サステイナブル・パワーの関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータの何れかが正確または完全でなかった場合においても、責任を問われないものとします。

### Ⅳ DNV 意見の基礎

DNV は、ダイキアックス・サステイナブル・パワーにとってより柔軟なサステナビリティファイナンス適格性評価手順(以下、手順)を作成するために、GBP、GBGLs をはじめとする各種基準の要求事項を参照したダイキアックス・サステイナブル・パワー グリーンボンド評価手順を適用しました。この手順は GBP の 4 つの核となる要素を参照もしくは適用しています。

DNV のサステナビリティファイナンス評価手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、サステナビリティファイナンスは「環境及び社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」べきである、というものです。

DNV の手順に従って、レビュー対象であるこのサステナビリティファイナンスに対する基準は、以下の 4 つの原則にグループ分けされます。

- **要素 1：調達資金の用途**：調達資金の用途の基準は、グリーンボンドの発行体がグリーンボンドにより調達した資金を適格グリーンプロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な環境改善効果を提供するものです
- **要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス**：プロジェクトの評価及び選定の基準は、グリーンボンドの発行体が、グリーンボンド調達資金を用途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。
- **要素 3：調達資金の管理**：調達資金の管理の基準は、グリーンボンドが発行体組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。
- **要素 4：レポート**：レポートの基準は、債券への投資家に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

## V 評価作業

DNV の評価作業は、ダイキアックス・サステイナブル・パワーによって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

### 初回(グリーンボンド発行前)アセスメント \* 本報告書には含まれません

- この評価に資する上述及びスケジュール-2 に関し、ファイナンスへの適用を目的とした発行体特有の評価手順の作成。
- この債券に関して発行体より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照します。
- 発行体との協議及び、関連する文書管理のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成。

### 定期(年次)アセスメント \* 本報告書の内容

- グリーンボンド実行に関連した発行体により提供された根拠書類、上位レベルのデスクトップ調査、文書レビュー、及び発行体の主要担当者へのインタビューで補足された根拠書類、の評価。これらのチェックは、現在の評価ベストプラクティスと標準方法論を参照します。
- 発行体の管理者との協議、および関連文書管理のレビュー。
- 現地調査および検査（必要な場合）。
- 定期評価時点での、スケジュール-1 に記載された対象プロジェクト及び資産のレビュー。
- 本書で詳述されている、定期評価の観察結果の文書作成。

DNV の意見表明(詳細は後述)はこれらを要約したものです。

## VI 観察結果と DNV の意見

DNV の観察結果と意見は以下の通りです。

### (1) 調達資金の用途

DNV は、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーがグリーンボンドにより調達した資金の 10 億円のうち、経費を除く手取り金を GBP 及び GBGLs で示される以下の代表的な適格プロジェクトカテゴリーに合致した 2 つのグリーンプロジェクト (表-1) にリファイナンスとして充当したことを確認しました。

#### 「再生可能エネルギーに関する事業」

具体的には以下の事業です。

**プロジェクト 01 : 「太陽光発電事業」** 屋根置き型 5,200kW(200~800kW/カ所)

**プロジェクト 02 : 「小形風力発電事業」** 水平軸方式 217.8kW(9.9kW×2 基/カ所)

表-2 ダイキアクシス・サステイナブル・パワー グリーンプロジェクト (詳細はスケジュール-1 を参照ください)

グリーンプロジェクト	グリーンプロジェクトカテゴリー 及び充当額	グリーンプロジェクト概要
プロジェクト 01 :  太陽光 発電事業	再生可能エネルギー <sup>*1</sup> (エネルギー起源の CO <sub>2</sub> 削減)  充当額 : 6.82 億円	- <b>概要</b> DCMグループホームセンター既存店舗への屋根置き型太陽光発電  - <b>設置場所</b> 全11カ所 (茨城県、静岡県、富山県、石川県)  - <b>出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計 : 5,200kW (200kW~800kW/カ所)
プロジェクト 02 :  小形風力 発電事業	再生可能エネルギー <sup>*1</sup> (エネルギー起源の CO <sub>2</sub> 削減)  充当額 : 2.78 億円	- <b>概要</b> 水平軸方式小形風力発電  - <b>設置場所</b> 充当対象11カ所 (北海道、青森県)  - <b>出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計 : 217.8kW (9.9kW×2基/カ所)



## (2) プロジェクトの評価と選定プロセス

DNV はレビューを通じて、スケジュール 1 に記載される 2 つの対象グリーンプロジェクトが、ダイキアクシスグループの経営理念(コーポレートスローガン)及び中期経営計画に合致し、また下記の適格クライテリアを満たすことを発行体の関連部署で適切な所定のプロセスを経て評価及び選定されたことを確認しました。プロジェクトの実行に当たっては「I 項 スコープと目的 (3) 適用される基準もしくはガイドライン」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクト選定の際に、「選出における前提条件」として下記を実施若しくは適宜検討し、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響について対処していることを確認しました。

### <グリーンプロジェクト選出における前提条件>

- 環境関連法令及び諸規則の遵守(環境アセスメント実施等)
- ライフサイクルを考慮した温室効果ガスの削減の想定
- 地域コミュニティへの対応

## (3) 調達資金の管理

DNV は、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーが債券発行から償還までの期間、どのように資金を追跡管理するかについて確認しました。DNV は発行体が資金調達後に速やかに適格プロジェクトのリファイナンスに充当したことを確認しました。資金充当状況については、内部経理管理手順に基づき支出し、経営管理部が管理していることを確認しました。発行体は会計年度毎に定期的にグリーンボンドの残高をレビューする計画です。

なお、先述の通り、DNV は債券の財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、もしくは長期的な環境改善効果に関する保証も提供しません。

#### (4) レポーティング

DNV は、GBP 及び GBGLs で要求されるグリーンボンド特定の情報に関して償還までの期間、ダイキアックス・サステイナブル・パワーは親会社ダイキアックスのウェブ上で年次報告することを確認しました。これら情報公開には、各プロジェクト別(太陽光発電事業、小形風力発電事業)に、調達資金の充当と管理状況、対象プロジェクトと進捗、及び関連する定性的・定量的な環境改善効果についての記載が含まれることを確認しました。

各充当プロジェクトの環境改善効果は以下の通りです。

No.	充当プロジェクト	プロジェクト概要	環境改善効果
01	太陽光発電(陸上) 屋根置き型太陽光発電	<b>-概要</b> DCMグループホームセンター既存店舗への屋根置き型太陽光発電  <b>-設置場所</b> 全11カ所 (茨城県、静岡県、富山県、石川県)  <b>-出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計：5,200kW (200kW～800kW/カ所)	年間発電量：8,248,227(kWh) CO <sub>2</sub> 削減量：3,670,461 (kg-CO <sub>2</sub> )
02	風力発電事業(陸上) 小形風力発電	<b>-概要</b> 水平軸方式小形風力発電  <b>-設置場所</b> 充当対象11カ所 (北海道、青森県)  <b>-出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計：217.8kW (9.9kW×2基/カ所)	年間発電量：42,283(kWh) CO <sub>2</sub> 削減量：18,816(kg-CO <sub>2</sub> )

なお、環境改善効果の評価は、以下の方法により算出しています。

$$\text{CO}_2 \text{ 削減量(kg-CO}_2 \text{ 削減量)} = \text{発電量(kWh)} \times \text{CO}_2 \text{ 排出係数(kg-CO}_2 \text{/kWh)}$$

発電量：太陽光発電事業及び風力発電事業の実績値

CO<sub>2</sub> 排出係数: 「温対法に基づく事業者別排出係数」より CO<sub>2</sub> 排出係数の全国平均値

ダイキアックス・サステイナブル・パワーは、当該グリーンボンドが関連する基準に継続的に適合していることの確実性(整合性)、客観性を高めるために、調達資金の全ての充当が完了する見込みである 2022 年度まで DNV による外部レビューを取得する予定です。

## 評価結果

DNV は、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーから提供された情報と実施された業務に基づき、当該グリーンボンドがグリーンボンド適格性評価手順の要求事項を満たしており、GBP 及び GBGLs の「環境への利益を伴う新規プロジェクトもしくは既存プロジェクトへの資本調達及び投資を可能にする」というグリーンボンドの定義・目的と一致していることを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2022 年 2 月 25 日



**マーク ロビンソン**  
サステナビリティサービス マネージャー  
DNV ビジネス・アシュアランス、オーストラリア



**前田 直樹**  
代表取締役社長  
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



**金留 正人**  
プロジェクトリーダー  
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



**香取 剛**  
アセッサー  
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

### About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight.

With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

スケジュール-1 ダイキアクシス・サステイナブル・パワー グリーンボンド候補プロジェクト

No.	グリーンボンド プロジェクト ポートフォリオ	グリーン プロジェクト分類 [環境改善効果]	グリーンプロジェクト サブ分類	調達額	充当額	特記事項 (概要、出力・規模、設置場所、等)
01	太陽光 発電事業	再生可能エネルギー [エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 削減]	太陽光発電(陸上) 屋根置き型太陽光 発電	調達額 (本社債発行額 から発行諸費用を除いた 金額) : 9.95 億円	充当額 : 6.82 億円 (リファイナンス)	<p><b>-概要</b> DCMグループホームセンター既存店舗への屋根置き型太陽光 発電</p> <p><b>-設置場所</b> 全11カ所 (茨城県、静岡県、富山県、石川県)</p> <p><b>-出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計 : 5,200kW (200kW~800kW/カ所)</p> <p><b>-その他</b> 既存店舗の屋根を利用した太陽光発電であり、新たな土地 開発を必要としない環境へのリスクが低いプロジェクトである。</p>
02	小形風力 発電事業		風力発電事業(陸 上) 小形風力発電			<p><b>-概要</b> 水平軸方式小形風力発電</p> <p><b>-設置場所</b> 充当対象11カ所 (北海道、青森県)</p> <p><b>-出力、規模</b> 充当対象11カ所の合計 : 217.8kW (9.9kW×2基/カ所)</p> <p><b>-その他</b> 風力発電設備の建設は、土地取得や設備開発、設置を含め ダイキアクシス・サステイナブル・パワーが行った。</p>

## スケジュール-2 ダイキアクシス・サステイナブル・パワー グリーンボンド適格性評価手順

下記 GBP-1 ~ GBP-4 は、グリーンボンド(GBP)の各種基準を基に作成された DNV のグリーンボンド適格性評価手順です。

評価作業における「文書確認」は発行体内部文書等が含まれ、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーから DNV に対して適格性判断の証拠として提供されています。

### GBP-1 調達資金の使途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1a	資金の種類	グリーンボンドの種類は GBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)グリーンボンド ・グリーンレバニューボンド ・グリーンプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類： - シルフィードグリーンボンドフレームワーク(以下、フレームワーク) ダイキアクシス・サステイナブル・パワー関係者との協議	評価作業を通じ、シルフィードグリーンボンド(以下、グリーンボンド)は以下のカテゴリに分類されることを確認した。  ・(標準的)グリーンボンド
1b	グリーンプロジェクト分類	グリーンボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がグリーンプロジェクトのために使われることであり、そのことは、証券に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - 各プロジェクトリスト - GB 資金使途集計シート - ダイキアクシスウェブサイト ダイキアクシス・サステイナブル・パワー関係者との協議	フレームワークの中で特定されたプロジェクトが GBP 及び GBGLs で分類される代表的な以下の適格カテゴリに該当する。 <b>「再生可能エネルギー」</b> 具体的なプロジェクトとして、親会社であるダイキアクシスがグループとして推進する再生可能エネルギー関連事業の以下に含まれる。 - 太陽光発電事業 - 小形風力発電事業 また、調達資金のうち、充当された 9.6 億円はすべてリファイナンスであることを確認した。
1c	環境面での便益	調達資金使途先となる全てのグリーンプロジェクトは明確な環境面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - ダイキアクシスウェブサイト	DNV は、適格プロジェクトの実行によりエネルギー起源の CO <sub>2</sub> 削減に貢献することを確認した。CO <sub>2</sub> 削減効果について、ダイキアクシスウェブサイトにも算出方法及び算出結果を開示している。

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
			ダイキアクシス・サステナブル・パワー関係者との協議	DNV は、アセスメントを通じ、プロジェクト実行(太陽光発電の設置、小形風力発電の設置)に関連する GHG 排出リスクは以下の観点から相対的に少なく、GBP 及び GBGLs の適格性に含まれると判断した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 太陽光発電事業：屋根置き型であり新たな土地開発は含まれない</li> <li>- 風力発電事業：土地開発を含むが、限定された範囲である</li> </ul>
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- GB 資金用途集計シート</li> <li>- 各プロジェクトリスト</li> </ul> ダイキアクシス・サステナブル・パワー関係者との協議	グリーンボンドにより調達した資金のうち 9.6 億円が、スケジュール-1 に含まれる適格プロジェクトの両方(太陽光発電事業、小形風力発電事業)にリファイナンスとして充当されたことを確認した。

## GBP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	グリーンボンドの発行体はグリーンボンド調達資金の用途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行体が、対象となるプロジェクトが適格なグリーンプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス</li> <li>・グリーンボンド調達資金の用途となるプロジェクトの適格性についての規準作成</li> <li>・環境面での持続可能性に係る目標</li> </ul>	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- グリーンボンドによる調達資金の充当対象候補の選出について</li> </ul> ダイキアクシス・サステナブル・パワー関係者との協議	フレームワークに基づき、ダイキアクシス・サステナブル・パワーは以下の基準に従いプロジェクトの選定を行った。  適格プロジェクト： <ul style="list-style-type: none"> <li>- スケジュール 1 に記載される 2 つの対象グリーンプロジェクトが、発行体の親会社ダイキアクシスのグループ経営理念(コーポレートスローガン)及び中期経営計画(ESG 経営の推進)に準じ、また下記の適格クライテリアを満たすことを発行体の</li> </ul>

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
				<p>関連部署で適切な所定のプロセスを経て評価及び選定されたこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクトの実行に当たっては「Ⅱ項 スcopeと目的 (3) 適用される基準もしくはガイドライン」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクト選定の際に、「選出における前提条件」として下記を実施若しくは実施し、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響について対処していること。</li> </ul> <p>&lt;グリーンプロジェクト選出における前提条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 環境関連法令及び諸規則の遵守(環境アセスメント実施等)</li> <li>- ライフサイクルを考慮した温室効果ガスの削減の想定</li> <li>- 地域コミュニティへの対応</li> </ul>
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	グリーンボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、グリーンボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- ダイキアクシスウェブサイト(ダイキアクシス経営理念、中期経営計画他)</li> </ul> <p>ダイキアクシス・サステイナブル・パワー関係者との協議</p>	発行体の実施するグリーンプロジェクトは、発行体の経営理念(コーポレートスローガン)及び中期経営計画、環境方針と一致し、またプロジェクトの実行に際しては、環境関連法令、条例及び諸規則の遵守、周辺環境への配慮などが考慮されていることを確認した。またDNVは、グリーンプロジェクトによるCO <sub>2</sub> 削減等の環境改善効果が明確になっていることを、フレームワーク等の文書確認や関係者へのインタビューを通じて確認した。

## GBP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	グリーンボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、グリーンプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- GB 資金用途集計シート</li> <li>- 経理規程</li> <li>- 文書管理規程</li> </ul> ダイキアクシス・サステイナブル・パワー関係者との協議	DNVは文書レビューとインタビューにより、調達した資金の全ては債券発行後から償還までの間、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーの一般的な会計口座に入金され、その後、経理管理規程や文書管理規程に基づく内部プロセスを用いて適格プロジェクトに充当されることを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	グリーンボンドの償還期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- GB 資金用途集計シート</li> <li>- 経理規程</li> <li>- 文書管理規程</li> </ul> ダイキアクシス・サステイナブル・パワー関係者との協議	DNVは文書レビューとインタビューにより、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーが債券発行から償還までの期間、どのように資金を追跡管理するかについて確認した。DNVは発行体が資金調達後に速やかに適格プロジェクトのリファイナンスに充当していることを確認した。発行体は少なくとも会計年度毎に定期的にグリーンボンドの残高をレビューする計画である。
3c	一時的な運用方法	適格性のあるグリーンプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- GB 資金用途集計シート</li> <li>- 経理規程</li> <li>- 文書管理規程</li> </ul> ダイキアクシス・サステイナブル・パワー関係者との協議	DNVは文書レビューとインタビューにより、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーは資金調達後速やかに発行体の内部管理規程に基づきリファイナンスとして支出しており、調達資金の全額が充当されるまでの間は、未充当資金をダイキアクシス・サステイナブル・パワーが現金又は現金同等物として管理していることを確認した。



## GBP-4 レポーティング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	<p>調達資金の使途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はグリーンボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-守秘義務や競争上の配慮</li> <li>-各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果</li> </ul>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- ダイキアクシスウェブサイト</li> <li>- ダイキアクシス・サステイナブル・パワー関係者との協議</li> </ul>	<p>ダイキアクシス・サステイナブル・パワーは、グリーンボンドで要求される特定の項目についてダイキアクシスウェブサイトにて年次で情報開示を行う予定であることを確認した。情報開示には充当状況、プロジェクト進捗状況、環境改善効果に関連する定性的及び定量的な報告が含まれる。具体的にはDNVは、ダイキアクシス・サステイナブル・パワーが、スケジュール-1に示したプロジェクトを通じて提供した再生可能エネルギーによる発電実績に基づき、CO<sub>2</sub>削減量(t-CO<sub>2</sub>)をダイキアクシスウェブサイトにて報告していることを確認した。</p>